

## 新潟職能短大通信

## 外部との交流②

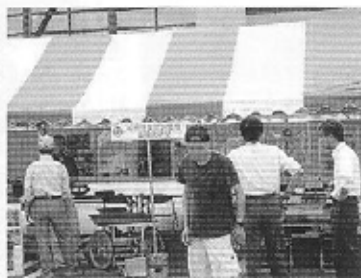
当校では、各種のイベントやフェアに参加し、学生が制作した作品を出展しています。外部で開催されるイベント等に参加することは、当校のPRになるだけでなく、作品の製作に携わった学生や指導教員にとっても良い励みとなります。今年度からは、新発田市を中心に開催されるイベント等にも積極的に参加してきました。

八月までは、「かわさきロボット競技大会」や「ワールド・エコノムープ・グランプリ」に参加しました(十月号に掲載)。

九月末には、新発田市主催の「エコフェスタ」(来場者三千名)に参加し、続いて新潟県能力開発協会主催の「にいがた・技のにぎわいフェスタ」(来場者二千六百名)にも参加しました。九月末は毎週イベントに参加することになり、担当するスタッフにたいぶ負担がかかったかもしれませんが、「エコフェスタ」では、「省エネカー」、「ソーラーカー」、「風力発電システムモジュール」、「シックス

ハウス」(パネル)を展示し、市民の方々に当校での「エコ」に配慮した取り組みを紹介しました。

また、「にいがた・技のにぎわいフェスタ」では、主にロボット作品を展示し、大人から子供まで興味を持って見てもらいました。特に、子供たちにはロボットの操作が好評のようでした。



「エコフェスタ」



「にいがた・技のにぎわいフェスタ」

十月上旬には、新発田市主催の「ふるさとしばた「食」と「職」のおまつり」(来場者七千名)に参加し、ものづくり体験コーナーや訓練作品の展示を行いました。中でも、「稲荷神社」(実寸大)の展示では、新発田市にもご協力をいただき、広いスペースで展示することができました。

十月上旬には、「ものづくり技術交流会in燕三条2008」(来場者二千十名)と「新潟国際ビジネスメッセ2008」(来場者九千七百十一名)が同日開催となりました。それぞれの会場で、作品展示を行い、当校の訓練成果をアピールすることができました。

「ものづくり技術交流会in燕三条2008」では、他大学からも同じようなロボットなどが出展されましたが、当校のものづくりの強みをアピールする機会となりました。企業との交流では、求人情報やインターンシップ受入れなど貴重な情報を得ることができました。

「新潟国際ビジネスメッセ2008」における当校のブースでは、学生のアイデアも取り入れた作品を展示し、当校での「ものづくり力」をアピールすること

ができました。



「ものづくり技術交流会in燕三条2008」



「新潟国際ビジネスメッセ2008」

今年は、多くのイベントに参加しました。出展作品の内容については、再検討を行い、さらにすばらしい作品づくりを目指し、当校の「ものづくり力」をアピールしていきます。

詳細については、当校HPに掲載していますので、ご覧下さい。

(<http://www.ehdo.go.jp/nigata/npc/npindex.html>)

新潟職業能力開発短期大学校  
能力開発部長 福元 基